

地元小中学生が川で安全に遊べるように 尻別川水辺の安全講座



インストラクターによるレスキューを実演



川の危険な箇所をDVD上映

8月2日(木)蘭越町尻別川において、地元小中学生を対象として尻別川水辺の安全講座を開催しました。これは、7/1~8/31の間、当部が行っている河川水難事故防止の周知・啓発の取り組みの一環として行われているものです。

今回は、成人ではなく初めて地元小中学生を対象として、「尻別川の特徴」や「水辺で楽しく安全な遊び方」を教えることにより、川で遊ぶ楽しさと危険を知り、安全で楽しい活動ができるようになることを目的としています。

講座では、DVDを上映して川での危険な場所や行為を確認した後、子ども達は班毎に別れて用意された用紙に危険箇所などを書き込み、大きな紙にまとめた後、みんなで発表しました。



さあ、おさらいですよ～、班に分かれてDVDで見た川の危険な箇所を書き出します



川の危険な箇所を書いたらお兄さんに教えてね♪



川に入る前にライフジャケット着用できたかな



まずは川を歩いてみよう！
川底の石がぬるぬるして滑るから気を付けて、
水が深いところは水流の勢いが強いから、
ゆっくり慎重に！

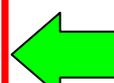


別グループは、スローバックレスキュー法説明

実習は、「リバーレスキュー」と「安全な川の歩き方」のグループに分かれて行いました。子ども達はライフジャケットを着用し、真剣に講師の説明に耳を傾け、「リバーレスキュー」ではインストラクターが漂流者役を行い「スローバックレスキュー法(※)」を実演した後、実際に子ども達が救助活動を練習しました。

「安全な川の歩き方」では、尻別川の浅瀬に入り、石がぬるぬるして滑りやすいことや、少しでも水深が深いと水流に足が取られやすいことを実感していました。

最後に実習の中で「ヒヤリ・ハッ」としたことをまとめ、感想文を書いて終了しました。



※スローバックレスキュー法

漂流する人を陸上などからスローバックという救助する道具を使用して救助する。バッグの中に水に浮く素材で出来たロープが入っており、ロープの入ったパックを漂流者の体の上側に投げ、岸などに引き寄せる方法。

では実際に投げてみよう！



届いた！コツや注意することを忘れないでね！

